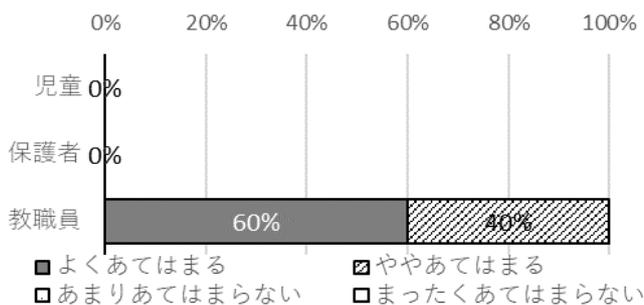


# 令和5年度 学校評価 集計結果

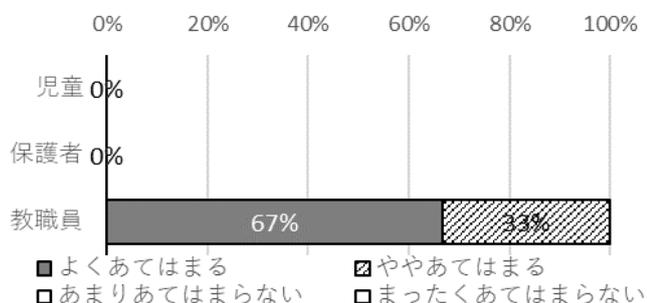
## ⑳学校運営に職員の意見が反映されている



※学校運営に職員の意見が反映されている。

成果と課題	100%の職員が反映されていると感じている。
※対策	引き続き風通しの良い職場作りに努め、職員間で連携をとっていきたい。

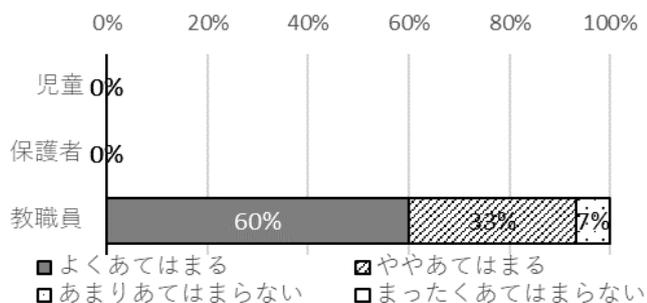
## ㉑職員会・終礼などが機能している



※職員会・終礼などが機能している

成果と課題	100%の職員が機能していると感じている。児童理解ができる時間があるので、他学級の児童のことが知れてよいし、本学級の児童のことも知ってもらえてよい。
※対策	今後も、些細なことでも気軽に情報交換できる場であるように努めていきたい。

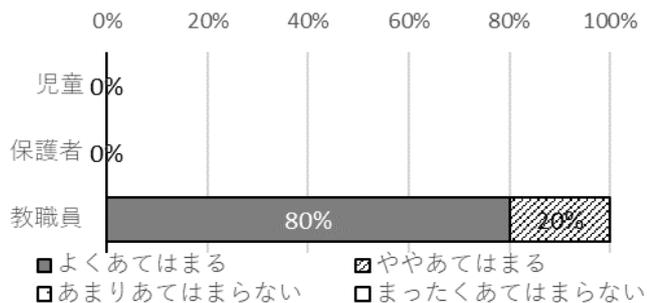
## ㉒気軽に相談し合える人間関係ができている



※気軽に相談し合える人間関係ができている

成果と課題	7%の職員があまり人間関係ができていないと感じている。困っていることなどを気軽に相談できる相手がないのではと考える。
※対策	引き続き風通しの良い職場作りに努め、職員間で連携をとっていきたい。

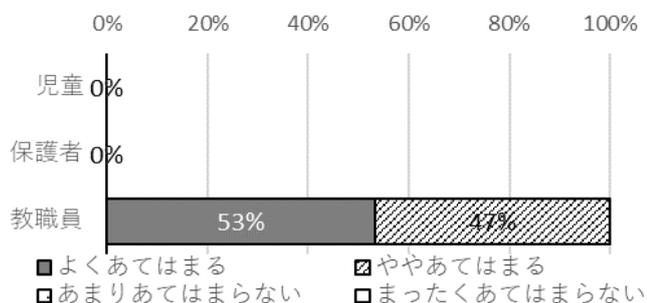
③①問題行動が起こったとき、組織的に対応できている。



※問題行動が起こったとき、組織的に対応できている。

成果と課題	100%の職員が、対応できていると答えた。今年、管理職に大小の問題に関わらず相談しやすかったという声を職員からもらった。
※対策	引き続き、問題に対して共に考えていく体制作りを進める。

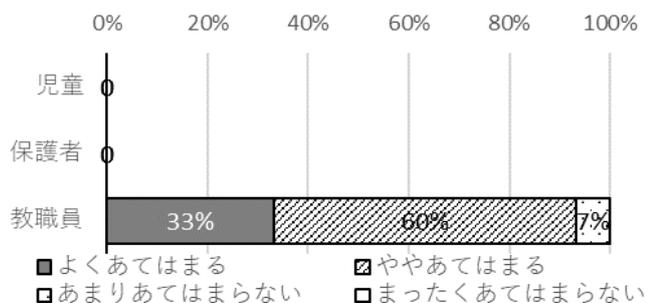
③②校内研修で学んだことが実践に役立っている。



※校内研修で学んだことが実践に役立っている。

成果と課題	100%の教員が役立ったと感じている。昨年度以上に、ゲストティーチャーを招くなど、校内研修が充実したものになったのが原因と考える。
※対策	自分が役立てる 役立つ研修内容にする 教材研修・実技講習

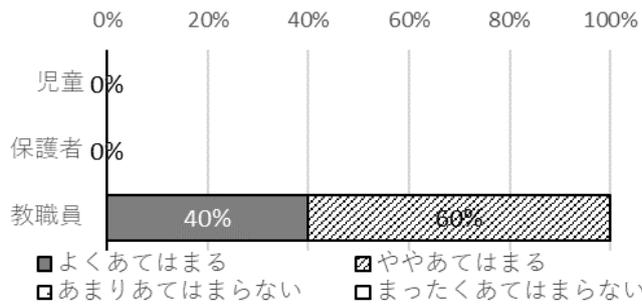
③③業務の効率化、最適化に取り組んでいる。



※業務の効率化、最適化に取り組んでいる。

成果と課題	業務の効率化、最適化に取り組めていないと感じている職員がいる。たくさんの校務を掛け持ちしている職員が多く、市教委への報告文書をはじめ、保護者対応、教材研究など多忙を極め、なかなか思うように効率化・最適化することができないからではないかと考える。
※対策	小規模校であるがゆえ、たくさんの校務を掛け持ちしているため、難しい面があるが、業務の効率化に引き続き計画的に取り組んでいきたい。

③④ワークライフバランスに留意し、働き方改革に取り組んでいる。



※ワークライフバランスに留意し、働き方改革に取り組んでいる。

成果と課題	100%の職員が、働き方改革に取り組んでいると答えた。昨年度に比べると、全体的に職員の退庁時間が早まっていると感じる。また年休（時間休）も効果的にとっている。
※対策	多忙で仕事におわれて体調を崩す場合もあるので、職員の健康面に留意し、休みたいときは休めるような職場づくりに努めていきたい。